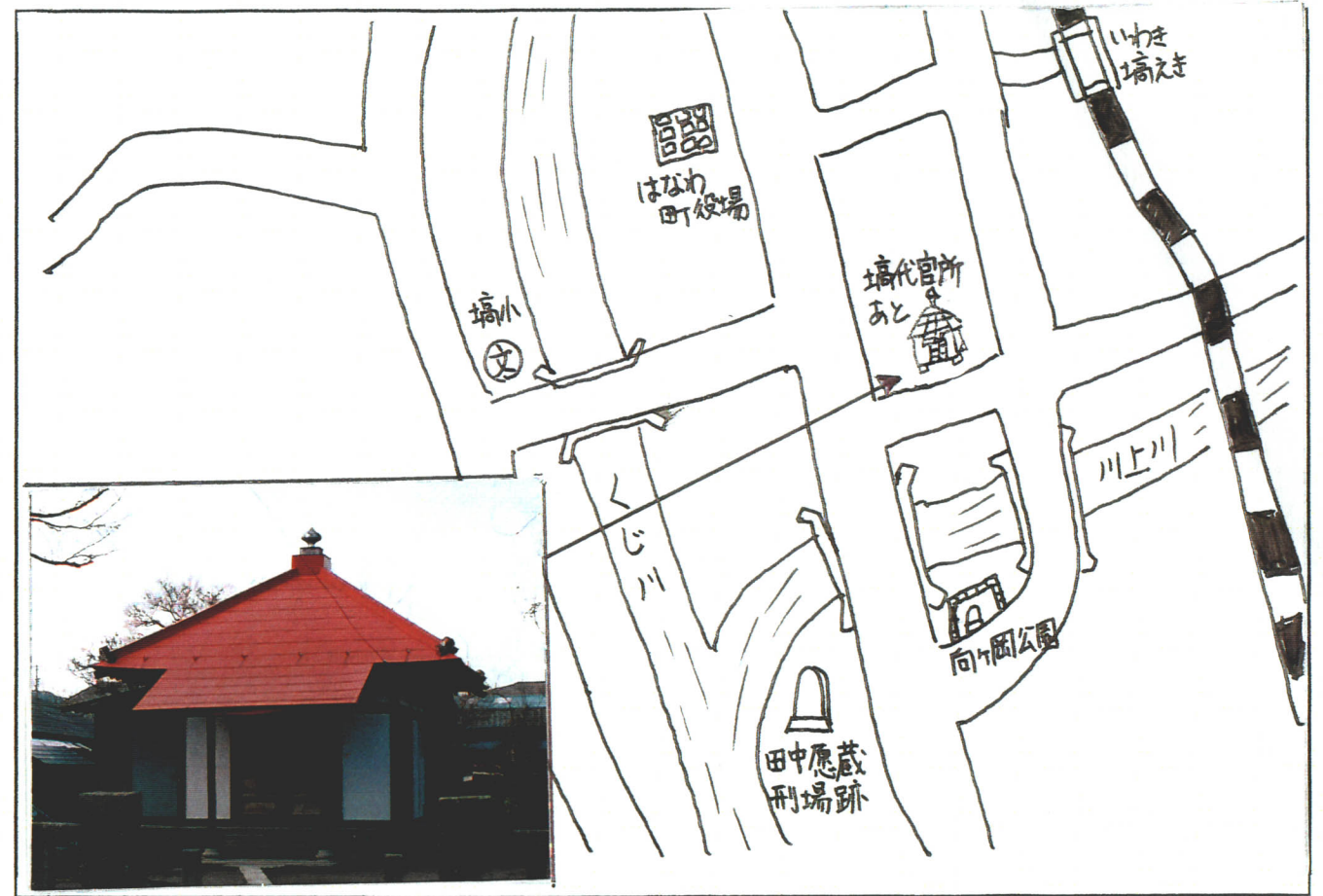


名代官 寺西封元（たかもと）

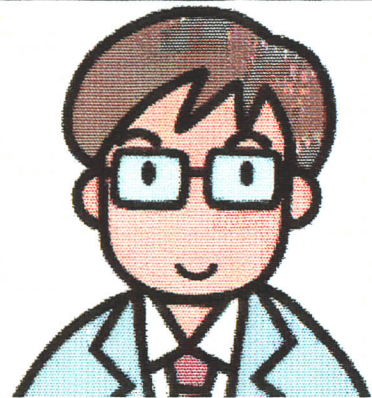
寺西は寛政四年（一七九二年）から二十二年間、塙の代官として働きました。あれはてた農村の立て直しに力をそそぎ、またわるいしゅうかんをあらためさせました。こうしたさまざまな努力が、名代官と語りつがれるいわれです。



むかしからのでんとう行事



これは伊香で行われている『おすわさまの祭り』だよ。なんと100年もまえから続いているそうだよ。約3時間かけて約110戸を駆けぬけるんだって。みんなの地区にはどんな行事があるかな。



歴史に詳しい人の話
塙代官所について

享保14年(1729年)から慶応4年(1868年)までの139年間、塙代官陣屋(じんや→役所のこと)がここに置かれていました。陣屋の大きさは土地が約1650つぼ(たたみで3300枚分)、表ご門をはじめ、御殿(ごてん)、長屋(ながや)などの建

物が立ちならび、まわりにはほりがめぐらされていました。ほりの外には、番所(ばんしょ)や土蔵(どぞう)などもあったと伝えられています。こうしたことから当時の代官の力が強かったことがわかります。今でも土地の名前として代官町が残っていますね。